

〈病院理念〉いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

倉敷医療生活協同組合  
**水島協同病院**  
 基幹型臨床研修病院  
 倉敷市水島南春日町 1-1  
 (代表) **086-444-3211**  
 (外来) **086-444-1222**

# うちの病院

No.368 2025年3月号



水協のホームページをご覧ください



LINE お友達募集中!!

<https://www.mizukyo.jp>

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています

「不登校」と呼ばれる子どもたちは11年連続で増え続け、小学生で10年前の5倍に増えています(文科省の調査)。当院の発達相談でも30年以上前から不登校の相談をしてきた中で、次のようなことを感じています。

**不登校の原因への対処や、その背景にも目を向ける**

不登校の原因は、友達関係のトラブルや仲のいい子の転校、先生との相性などがありますが、近年は発達障害の特徴を持っていることで学校にしろんどさを感じている場合も多いと言われています。まずはその原因を明らかにし、きちんと対処することが大切です。

**不登校の子は、学校に行きたいと思っているのに行けない**

不登校状態の子は、登校できないことに強い罪悪感を感じ、外出時に友達に見られないよう隠れたり外出を避けようとしてます。子どもたちに聞くと、家で勉強せずゲームや動画ばかり見ているように見えても「頭のどこかで学校のことが気になって、心底楽しめていない」と言います。「学校に行かなければいけない、行けない自分は悪い」という思いはその子自身が一番強く感じています。

**無理やり登校させようとすると、登校できなくなる**

本人が行けない状態の時に無理やり登校させようとすると、学校や親、教師への不信感や学校への恐怖感がさらに強くなり、家で荒れたり気分が落ち込んでどんどんエネルギーが低下してしまいます。本人の意志を無視して登校を強制すると、結果的に学校から遠ざけてしまうことが多いと思います。

**無理やり登校させようとすると、登校できなくなる**

本人が行けない状態の時に無理やり登校させようとすると、学校や親、教師への不信感や学校への恐怖感がさらに強くなり、家で荒れたり気分が落ち込んでどんどんエネルギーが低下してしまいます。本人の意志を無視して登校を強制すると、結果的に学校から遠ざけてしまうことが多いと思います。



しかしその背景として、成果主義(利益や効率を過剰に求める考え)の価値観が社会に根強くあり、それが子どもたちの世界にも大きく影響し、生きづらさを増していること

(次回は不登校の子どもたちについてどう接したらいいかを考えます。)

後編は4月号で掲載予定です。

## 不登校

「行きたいのに行けない子どもたち」

発達相談員 **檀上 貴史**

前編

## 当院では看護学生インターンシップをおこなっています

当院では看護学生インターンシップと題して、看護学生さんのレディネスを踏まえ、病棟で半日、看護師と一緒に患者さんのケアについて見学・体験していただいています。当院の看護や看護のやりがいを知ってもらうことで、就職や看護実習等に役立ててもらえる機会になるよう毎回工夫をこらしています。ぜひ、当院の看護学生インターンシップに興味をお持ちの方は、ご参加ください。(看護部長室 川西久枝)



昨年のインターンシップの様子

【概要】

- 日時** 3月19日(水)・25日(火) 9時~12時  
※土日祝を除いて随時受付可能です。
- 場所** 水島協同病院 2階講堂
- 対象** 看護学生 (学年問わず参加OKです)
- 体験内容** 病棟にて、当院の看護師と一緒におしめ交換や食事介助、看護処置の見学や体験などを予定しています。

申込方法



左のQRコードから参加フォームに入力してください。  
 看護部ホームページからも申し込みできます!

問い合わせ先) 看護部長室 学生担当 川西  
 電話)086-444-3211

質問タイムもあるよ!



みずきちゃん